



光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

6/16 (土) 御礼：授業参観 with 参観ガイド！

新年度、4月より積み上げてきた学習状況を御覧いただく機会として6/16(土)に授業参観を実施しました。事前にお配りした部門・学部別の「授業参観ガイド」を手にして、多くの保護者・御家族が来校してくださいました。S部門小学部5・6学年には、S部門中学部のガイドもお配りしました。B部門では上級学部の授業も御覧いただけるように部門1冊にガイドをまとめました。

他校では、中・高と進むにつれ、参観者が大幅に減少と聞くこともありますが、本校はどの学部も多くの方が参観にきてくださり、日頃の学習成果を披露する絶好の機会となりました。『先生方の授業の意図が事前によくわかり、当日は示して頂いた「見どころ」をしっかりと見逃さずに参観できました。』との感想も寄せられました。

現在、学習は更に進み学期末に向けて結実の時期を迎えます。終業式では1学期の学習成果と足跡を本校オリジナルの「光明学園通知表」として全員にお渡しします。

7/20 (金) 宮城先生を講師に保護者学習会再開！

昨年春に新しい特別支援学校学習指導要領が公示されました。今回は小学校の通常の教科学習との接続を図った大改訂となりました。特に「知的障害を伴う肢体不自由のある児童・生徒」を想定した各教科の目標と内容は飛躍的に詳しくなりました。現行学習指導要領の同部分と記述量を比較すると、国語では11倍に増えました。一部を紹介します。<読む> 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目する。<書く> 文字に興味をもち、書こうとする。⇒ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりする。とより具体的です。「また、算数・数学では、31倍に記述量が増えています。」<数量の基礎> 目の前で隠されたものを探し、指を差したりすること。<図形> 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりする。形を観点に区別する。形が同じものを選ぶ。となっています。

実は、新学習指導要領の記載内容は、昨年度の保護者向け学習会の内容と大きく重なっているのです。学習会にお招きした宮城武久先生(つばき教育研究所理事長)が、千人を超えるお子さんの学習指導の実践研究から導き出した指導理論をまとめた著作「障害のある子どもの

基礎学習」の内容が大きく反映されていると言われています。そこで今年度も宮城武久先生と宇川和子先生を招聘しての「保護者学習会第2弾」を行います。(先日、案内を配布し申込みを受付けました。)若干名の追加申込みが可能です。追加の参加御希望があれば、担任経由で副校長に御連絡ください。案内文書を再度お渡します。

<学習会の概要> 7/20 (金) 10:00~12:00 本校S棟
テーマ「文字構成の学習」 講師：宮城先生・宇川先生

大阪北部を震源とする地震被害：肢・病校編

先日の大阪北部地域を震源とする地震に関して、肢体校・病弱校の被害・復旧状況を当該校の校長先生から直接お聞きすることができましたので、概要をお知らせします。児童・生徒と教職員の人的被害が無かったことは何よりです。施設面で被害のあった大阪北部の4校について以下の状況です。 ※20(水) 17:30 現在の集約

◆大阪府立茨木支援学校(肢・病併置) 校舎にクラック、厨房大型冷蔵庫転倒、断水、ガスは供給停止。21(木)再開。簡易給食。ガス冷房不調で1便下校。22(金)から平常。

◆大阪府立箕面支援学校(肢・知併置) 校舎にクラック、21(木)再開。給食はメニュー変更。エレベーターは復旧。

◆大阪府立交野支援学校(本校：肢、分校：知) 天井のはがれ、スロープ床の破損、エアコン不調、(19(火)深夜復旧)。

◆大阪府立光陽支援学校(肢・病併置) 壁タイルはがれ、スロープ屋根の破損、プール破損(修繕模索)。21(木)再開。

※上記の光陽特支以外の大阪府内の病弱2校(刀根山、羽曳野)も、人的被害・施設被害は無し。

また、近接各府県の状況は以下の通りです。京都府/府立・市立の特支全8校の内、一部でエレベータ不調発生、市立特支校は市教委方針で19(火)臨時休校。兵庫県関係/1校が当日臨時休校、他の1校は耐震強度不足を懸念し、校舎外に避難し引き取りによる下校対応。奈良県・滋賀県・和歌山県関係/被害情報は無し。

※対応された学校から学び、本校の防災に活かします！

<予告> 東日本大震災時に肢体校で唯一の長期避難所を兼ねた福島県立郡山養護学校の渡邊元校長先生を10/5(金)に招き、保護者向け学習会と教職員研修会の講師、宿泊防災訓練への御助言をお願いしています。(別途御案内)

校長 田村 康二郎

S 部門小学部 総合的な学習のレポート 「梅もぎ体験」

5月24日（木）、S 部門小学部は羽根木公園まで梅もぎに行ってきました。天候にも恵まれ、梅のいい香りを感じながらの活動でした。

羽根木公園に着いて、職員さんから梅もぎの方法についての説明を聞いた後、各学年の梅の木を決めて収穫しました。「うめ、とる」をキーワードに行いました。

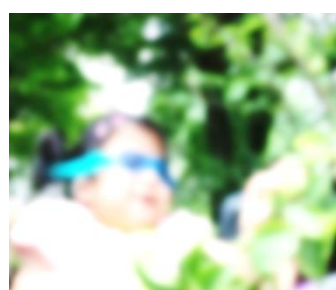
教員と一緒に棒をしっかりと握って、梅をつついたり、叩いたりして落としました。ポトン、ポトンと梅が落ちてくる音を聞いて、喜ぶ子や少し怖そうな表情をしている子もいました。

手の届くところにある梅は教員に抱っこされ、自分で手を伸ばして取りました。梅に一生懸命手を伸ばして、取っている姿がたくさん見られました。

今年も大振りで立派な青梅をたくさん収穫することができ、帰るときにはお土産の梅もいただき、それぞれがお家に新鮮な梅を持って帰ることができました。

収穫した梅を使って、梅ジュース用のシロップを作ったグループもあり、完成が楽しみです。

（S 部門小学部教諭 森井綾香）



S 部門 中学部

「梅中交流」

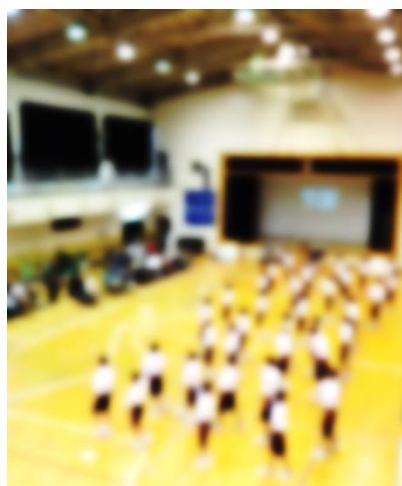
6月5日（火）S 部門中学部と梅丘中学校との学校間交流が行われました。S 部門生徒の司会進行のもと、両校の代表生徒の挨拶により、会が始まりました。

梅丘中学校の1年生は、体育祭でも踊ったダンスをクラスごとに披露してくれました。目の前で繰り広げられる元気いっぱいのパフォーマンスに、本校生徒も身体を動かしたり、声を出したりして楽しんでいました。

その後、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を通して交流を行いました。交流会のためのオリジナルルールを、本校各学年の代表選手が前に出て説明を行いました。「みんなでボッチャ！」の大きな掛け声が体育館に響き渡り、ボッチャを通しての交流は大いに盛り上がりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も近づいている中、地域の一員として今後も交流を深めていきたい、と感じた会でした。

（S 部門中学部教諭 吉田夏希）



S部門 高等部 「車いす利用者のための室内楽演奏会」

6月5日(火)、S部門高等部生D・E・Fの各グループの生徒は、港区のサントリーホールで行われた室内楽の演奏会に行ってきました。充実した素晴らしい体験でした。

この演奏会は、平成25年から始まり、音楽関係の各種団体の御支援を受けて、都立特別支援学校の肢体不自由教育部門に在籍する生徒を招待してくださっています。



期待に胸膨らませ、通学バスで学校から目的地まで約1時間、車内はウキウキした気分です。

ホールに着くと、最初に入口前に全員集まり、記念の写真撮影を行いました。続いて、入口上部に設置されている『からくり人形によるオルゴールの演奏』を聴きました。

さて、いよいよホールに入場です。演奏を聴前に、サントリーホールの係の方から生徒全員に立派なプログラムが配られました。

エルガーの『愛の挨拶』(ヴァイオリニストの渡辺玲子さんとピアノの江口玲さん)に始まり、シューベルトやラベルの曲、そして最後はチェロ(古川展生さん)を交えて、ベートーベンのピアノ三重奏曲『大公』の第1楽章を聴きました。

生徒の鑑賞態度はとても落ち着いていて、1曲終わるごとに大きな拍手を送っていました。

演奏後は、各自持参したお弁当を楽しく食べ、思い出とともに、学校への帰路につきました。

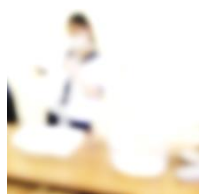
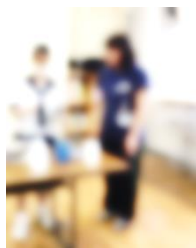
(S部門高等部主幹教諭 長 雅洋)



B部門 中学部・高等部 「授業レポート」

高等部1年は、家庭基礎「基本縫いの確認」。同2年文系は、数学Ⅱ「恒等式の証明」。同3年理系は、日本史A「明治維新」。同3年文系は、外国語演習「比較・関係副詞」。各学年とも期末試験に向けて課題に取り組んでいます。

(B部門主幹教諭 岡田典子)



中学部2年の理科では、「炭酸水素ナトリウムの熱分解」の実験を行いました。まず、実験DVDを視聴して、器具の名称と使い方、実験の方法を学びました。イメージをつかんで、意欲的に、実験開始。実験用具や手順を確かめながら、丁寧に進めました。水溶液の色の変化がはっきり分かり、結果を考察することができました。

